

30歳から始める

目指すは
三十路の星!

ドリフト 修練塾



今月の課題

photo — 久住伸之 report — 佐藤 圭

ほかのクルマに 交ざって走ろう!

◀今までは2人っきりの練習だったので、ほかのクルマの動きを読むことなんて未経験。スピンしたクルマをよけたり後続車に気を配るなど、精神的な余裕を持つことが目標だ!

取材協力 — TKくらぶ 0428-22-8665



◀「みんなのレベルはどんなだろう?」と、参加者の走りをじっくりとチェック。果たして自信を持ったのやら失くしたのやら……。

◀ジャッキや工具は持ってきたものの、走行会の必需品「ビニールテープ」は見事に忘れたマサ。ほかの参加者から借りちゃいました。

修業開始から7カ月 いよいよ走行会デビューだ!

さくく、今回からいよいよ走行会に参加しての走行になるぞ。といってもいきなり本格的なコースを走らせるのは不安なので、TKくらぶが主催するバイロンコースの走行会に交せてもらうことにした。

コーナーから2コーナーを振り返すことに集中させた。1コーナーは入り口が狭く、ガードレールが近いからね。

小さい。しかもコース幅は広いので、比較的カンタンにマスターしてもらわないと困るぞ! ま、さすがのマサもこのコーナーは問題なくクリア。しかし1から2コーナーの成功率が約50%なので、手前のコーナーで失敗してしまうと、ココまで尾を引いてしまうんだよ……。



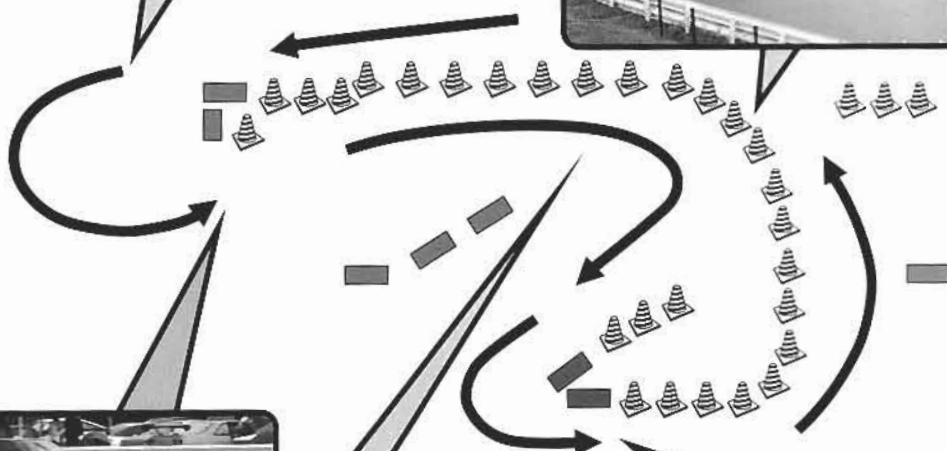
手前から流すのはリスクが高い 進入してからアクセルで流そう



◀振り返しの精度を上げるのがテーマのマサには、無理に手前から流さず、進入してからアクセルオンで流すように指示した。自信があるなら手前からサイドを使うのがオススメだね。イッキに流すとあっけなくスピンして、肝心な練習ができなくなるので注意しろ！

中級以上のテクニックが必要だ コースが狭いので恐怖感も倍増

▼今回はインにもアウトにもパイロンを置いて、ドリフト禁止区間としていた。このような高速コーナーでのドリフトではアクセルワークなどももちろんだが、視線が重要。行きたい方向をしっかりと見て、クルマをコントロールするようにしよう。



振り返すのを焦らずに 慣性が弱まるまでガマン

▲振り返しの起点となるコーナーの立ち上がりでは、なるべくアウトまで行くように。振り返すポイントは、2つのコーナーの間くらいかな？ そこでアクセルをオフにしても慣性が斜め前に進むので、慌てずに姿勢をキープしよう。振り返すのは慣性が弱まってから！



アクセルはハーフのまま クリップへ向かって進む

▲振り返したらその姿勢をキープすることを意識しよう。アクセルを踏みすぎず、ハーフくらいでキープできればベスト。ただし、クリップはしっかりと取ってやらないと、次のコーナーへの進入がキツくなるぞ。ライン取りをよく考えて走りたい。



走行ラインを大きく取り コントロール幅を広げる

▲立ち上がりでインに寄りすぎると行き場がなくなってしまうので気をつけよう。ラインは大きいほうがコントロールも楽だね。ただし、あまり外まで行くとそれはそれで次がキツくなるので程々に。また、振り返したらコーナーのクリップを確実に取ること。

このコーナーをつなげて考えることが大切なんだ。ひとつミスをするとかかなり先までしわ寄せがくるからね。いわゆる「先を考えた走り方」を身につけるようにしておこう。

最終コーナーはドリフト禁止区域。ガイドレールが近くて危ないから、

そう決められたんだろうな。今回は生徒がマサー人だったので、時間をかけて教えることができた。ここまでくれば、もう振り返しはできて当たり前。次の課題は成功率を上げていくことと、同じラインを通るってことだ。

毎回のようラインが違っていて、とは、操作にムラがあるって証拠だからね。同じ操作を同じタイミングでやっていたら、走るラインはそんなにズレるはずがないんだ。みんなも練習するときはそれを頭に入れておこうぜ！

おれ様の
いうとおりに
やれば完璧だぞ！



次回予告

パイロンコースを卒業して
ミニサーキットに進出だ！



◀やはり最初の3、4周は失敗ばかり。これだけ練習したんだから、1発目から派手なドリフトを披露してくれたのもイんじゃない？



竹ちゃんも 練習会に参加！

●今月は「暴走特急」こと竹ちゃんは仕事の都合でお休み。その代わり、別の機会に同じようなパイロンコースの走行会に参加を表明。今のところ互角の成長を見せている2人だけに、ココで置いていかれるわけにはいかないもんね。なんでも、強引にチンゴ先生まで連れていくとか？ スピンしてもアクセルを踏み続ける豪快なドリフトが待ち味だけに、まわりのクルマはちょっと怖いかも……。



TKくらぶサーキット走行会



●マサのデビュー先として選んだのが、「TKくらぶ走行会」。富士スピードウェイをはじめ、日光サーキットや茂原サーキットなどで月に4~6回ものイベントを開催しているぞ。とにかくアットホームな雰囲気なのが魅力で、参加費もかなり格安（今回の富士ジムカーナ場は丸1日で1万5000円）なので、ビギナーが練習するにはピッタリなのだ。会場では中古タイヤのレンタルなども行っているの、途中でタイヤがなくなった！なんて場合でも安心。



▲主催者の神谷さん。「ビギナーが安心して練習できるイベントを心がけています」とのこと。日程や場所はホームページでチェック！